

科目名	家畜育種			開講時期	2年生 後期		
				授業の形態	講義		
ディプロマ ポリシー	実践的な知識・技術			時間数	15 時間		
担当者名				単位数	1 単位		
科目の概要	(1)家畜の形質の遺伝を理解し、牛群の能力向上のための交配計画を作成する (2)家畜の検定や登録の仕組みを理解し、能力評価の方法を理解する						
身に付ける力	牛群の能力の評価と向上に必要な知識						
到達目標	(1)家畜の形質の遺伝を理解し、後継牛の能力向上を図ることができる。 (2)家畜の能力に応じて選抜・淘汰を行い、交配計画を作成することができる。						
授業計画		授業内容・方法			時間数	講師	
	1	遺伝の原理(遺伝子の構造と機能)			2		
	2	遺伝子の原理(1)			2		
	3	遺伝子の原理(2)			2		
	4	家畜の主要形質の遺伝			2		
	5	家畜の選抜、交配の方法			2		
	6	家畜の能力検定、登録			2		
	7	新しい家畜育種技術			2		
	8	定期試験			1		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
テキスト・副教材							
評価方法	評価方法		観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期試験		知・技	80	実技テスト		
	レポート				発表・成果物		
	授業・実習態度		思・判・表、態	20	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	家畜解剖・疾病			開講時期	2年生 後期	
				授業の形態	講義	
ディプロマ ポリシー	実践的な知識・技術			時間数	20 時間	
担当者名				単位数	1 単位	
科目の概要	(1) 牛の解剖学的構造の学修 (2) 伝染病や生産病の症状・原因の学修 (3) 飼養管理方法及び現場で発生する疾病の知識の習得					
身に付ける力	体調を崩した牛を早期に発見し、対処する知識・技術					
到達目標	(1) 家畜の解剖学的な構造を学修し異常を発見できる。 (2) 牛の伝染病や、生産病の症状・原因等を学修し、飼養管理に活かせる。					
授業計画		授業内容・方法			時間数	講師
	1	家畜の健康状態観察のポイントと主な症状、解剖(1)			2	
	2	解剖(2)(骨格、筋肉、臓器、神経他)			2	
	3	生産病(1)			2	
	4	生産病(2)、消毒剤の有効性			2	
	5	中間試験			1	
	6	感染症とは			2	
	7	細菌とウイルス(1)			2	
	8	細菌とウイルス(2)			2	
	9	細菌とウイルス(3)、飼養衛生管理基準			2	
	10	飼養衛生管理基準、動物用医薬品の取扱い			2	
	11	定期試験			1	
	12					
	13					
	14					
	15					
テキスト・副教材	テレビ・ドクター4 デーリーマン					
評価方法	評価方法		観点	割合	評価方法	
	定期試験(中間試験30%)		知・技	80	実技テスト	
	レポート				発表・成果物	
	授業・実習態度		思・判・表、態	20	研修評価	

観点:「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度

科目名	営農計画(畜産)			開講時期	2年生 前期			
				授業の形態	講義			
ディプロマ ポリシー	経営管理能力			時間数	15 時間			
担当者名				単位数	1 単位			
科目の概要	(1)畜産物価格や国制度に関する基礎知識の学修 (2)畜産経営に関する基礎知識の学修 (3)畜産経営計画の作成							
身に付ける力	畜産経営計画を作成する知識							
到達目標	(1)畜産経営を取り巻く環境を理解する (2)畜産経営計画が作成できる							
授業計画		授業内容・方法			時間数	講師		
	1	畜産物の価格形成要因と経営安定制度			2			
	2	畜産経営に必要な基礎知識			2			
	3	畜産経営に必要な計画作成						
	4	(1)飼料費の算出			2			
	5	(2)家畜の動態表の作成			4			
	6	(3)営農計画の作成			4			
	7	まとめ(定期試験を含む)			1			
	8							
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
テキスト・副教材								
評価方法	評価方法		観点	割合	評価方法		観点	割合
	定期試験		知・技	80	実技テスト			
	レポート		思・判・表		発表・成果物			
	授業・実習態度			20	研修評価			

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	飼料作物・草地管理演習			開講時期	2年生 通年			
				授業の形態	演習			
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	20 時間			
担当者名				単位数	1 単位			
科目の概要	(1) 飼料作物の栽培技術を習得 (2) 放牧草地の永続的な管理方法を習得 (3) 未利用資源(稲わら、野草)の収集・利用方法を習得							
身に付ける力	(1) 自給飼料の生産技術 (2) 放牧草地の管理技術 (3) 未利用資源の利用技術							
到達目標	(1) 飼料作物の作付け計画の作成から栽培・収穫・調製ができる (2) 放牧草地の管理ができる (3) 未利用資源の収集・利用ができる							
授業計画		授業内容・方法			時間数	講師		
	1	飼料作物栽培						
	2	(1)飼料作物の播種・収穫・調製・運搬			4			
	3	(2)堆肥散布			4			
	4	放牧草地の管理			4			
	5	未利用資源の利用						
	6	(1)稲わらの収集・運搬			4			
	7	(2)野草の収集・運搬			4			
	8							
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
テキスト・副教材								
評価方法	評価方法		観点	割合	評価方法		観点	割合
	定期試験(中間試験30%)				機械運転技術		知・技、思・判断・表	50
	レポート				発表・成果物			
	授業・実習態度		思・判・表、態度	50	研修評価			

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	GAP演習			開講時期	2年生 通年		
				授業の形態	講義		
ディプロマポリシー	経営管理能力			時間数	20 時間		
担当者名				単位数	1 単位		
科目の概要	(1) 人と家畜の健康や生産性に関する学修 (2) 畜産物の安全確保に関する学修 (3) 生産工程管理に関する学修						
身に付ける力	消費者から求められる畜産物の生産性や安全性に繋がる知識や技術						
到達目標	(1) 安全で効率的な家畜の飼養管理と現場改善の実践 (2) 畜産物の安全確保に関する知識の習得						
授業計画		授業内容・方法			時間数	講師	
	1	畜産における作業安全			2		
	2	家畜衛生(家畜伝染病、飼養衛生管理基準等)			2		
	3	畜産物の安全・安心の確保(農場HACCP等)			2		
	4	現場カイゼン			2		
	5	スマート畜産			2		
	6	アニマルウェルフェア			2		
	7	各専攻現場における自己点検の実践			6		
	8	次年度への改善			2		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
テキスト・副教材							
評価方法	評価方法		観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期試験				実技テスト		
	レポート		知・技、思・判・表	50	発表・成果物		
	授業・実習態度		思・判・表、態	50	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	畜産飼養管理演習(酪農)			開講時期	2年生 通年			
				授業の形態	演習			
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	80 時間			
担当者名				単位数	4 単位			
科目の概要	(1) 乳用牛の関する知識や技術を学修 (2) 乳用牛の飼養管理を実践し、生産管理技術を習得 (3) 農家及び畜産関係機関等を視察し、先進的な取り組みや管理の違いの理解 (4) 県内外で開催される研修会や講習会等に参加し新たな知見を得る							
身に付ける力	就農又は就業した際の乳用牛を飼養管理する知識及び技術							
到達目標	(1) 乳用牛の飼養及び生産管理ができる (2) 県内の先進農家の取り組みや畜産関係機関の役割を知る (3) 研修会等で得られた知識等を飼養管理に活用する							
授業計画		授業内容・方法			時間数	講師		
	1	乳用牛の飼養管理			70			
	2	(1)飼い付け						
	3	(2)搾乳(データ管理含む)						
	4	(3)一般管理(床替え、牛舎洗浄等)						
	5	(4)除角						
	6	(5)放牧地管理						
	7	(6)肉用牛の飼養管理						
	8	農家及び試験研究機関等への視察			5			
	9	(1)家畜市場(子牛、成牛等)						
	10	(2)畜産農家						
	11	(3)農林総合技術センター畜産技術部						
	12	(4)その他						
	13	研修会等への参加			5			
	14	酪農関係研修会						
15								
テキスト・副教材								
評価方法	評価方法		観点	割合	評価方法		観点	割合
	定期試験				実技テスト			
	レポート		知・技・思・判・表	50	発表・成果物			
	授業・実習態度		思・判・表、態	50	研修評価			

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	経営プロジェクト実習・卒業論文(酪農)		開講時期	2年生 通年		
			授業の形態	実習		
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術、地域活性化力、豊かな人間性		時間数	750 時間		
担当者名			単位数	25 単位		
科目の概要	(1) 経営プロジェクト計画に基づき、新たな技術や改善の必要な課題を抽出し、その対策方法を検討、計画及び実践 (2) 得られた結果を取りまとめて生産性及び経済性を評価し、発表する					
身に付ける力	(1)酪農経営に関する基礎知識・技術 (2)課題設定、栽培計画作成、調査の実施、取りまとめに関する手法					
到達目標	(1)収益性の向上につながる対策を計画し実践する (2)実践した結果の効果を検証し、経済性の評価をする (3)取り組んだ内容を図表等を使って取りまとめ、発表する					
授業計画		授業内容・方法		時間数	講師	
	1	経営プロジェクト課題設定		5		
	2	試験項目の設定		10		
	3	設計書および中間報告書作成		10		
	4	経営プロジェクト実習		680		
	5	経営プロジェクト取りまとめ		30		
	6	卒業論文の作成		15		
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期試験			実技テスト	知・技、思・判・表	60
	レポート			発表・成果物	思・判・表	10
	授業・実習態度	思・判・表、態	30	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	先進農家等派遣研修			開講時期	2年生 9月			
				授業の形態	実習			
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術、地域活性化力、豊かな人間性			時間数	150 時間			
担当者名				単位数	5 単位			
科目の概要	先進農家・農業法人での1カ月間の研修							
身に付ける力	担い手としての営農意欲の向上							
到達目標	(1)実際の農業経営の実情を理解 (2)農業現場で培われた実践的な技術や知識の習得 (3)担い手として必要な知識・技能の習得							
授業計画		授業内容・方法			時間数	講師		
	1	先進農家等への派遣研修(1カ月)			145	(研修先)先進農家等		
	2	研修報告会			5	教務課		
	3							
	4							
	5							
	6							
	7							
	8							
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
評価方法	評価方法		観点	割合	評価方法		観点	割合
	定期試験				実技テスト			
	レポート(日誌・報告書)		思・判・表、知・技	30	発表・成果物		思・判・表、知・技、態	70
	授業・実習態度				研修評価			

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	畜産飼養管理演習(肉用牛)			開講時期	2年生 通年	
				授業の形態	演習	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	80 時間	
担当者名				単位数	4 単位	
科目の概要	(1) 肉用牛に関する知識や技術を学修 (2) 肉用牛の飼養管理を実践し、生産管理技術を習得 (3) 農家及び畜産関係機関等を視察し、先進的な取り組みや管理の違いの理解 (4) 県内外で開催される研修会や講習会等に参加し新たな知見を得る					
身に付ける力	就農又は就業した際の肉用牛を飼養管理する知識及び技術					
到達目標	(1) 肉用牛の飼養及び生産管理ができる (2) 県内の先進農家の取り組みや畜産関係機関の役割を知る (3) 研修会等で得られた知識等を飼養管理に活用する					
授業計画		授業内容・方法			時間数	講師
	1	肉用牛飼養管理			70	
	2	(1)給餌管理				
	3	(2)一般管理(畜舎・牛房内環境整備等)				
	4	(3)除角				
	5	(4)去勢				
	6	(5)鼻環装着				
	7	(6)放牧地管理				
	8	(7)乳用牛の飼養管理				
	9	全共出品に向けた取組				
	10	農家及び試験研究機関等への視察			5	
	11	(1)家畜市場(子牛、成牛等)				
	12	(2)畜産農家				
	13	(3)農林総合技術センター畜産技術部				
	14	(4)その他				
	15	研修会等への参加			5	
	16	肉用牛関係研修会				
	17					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法		観点	割合	評価方法	
	定期試験				実技テスト	知・技、思・判・表
	レポート				発表・成果物	
	授業・実習態度		思・判・表、態	70	研修評価	

観点:「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度

科目名	経営プロジェクト実習・卒業論文(肉用牛)			開講時期	2年生 通年	
				授業の形態	実習	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術、地域活性化力、豊かな人間性			時間数	750 時間	
担当者名				単位数	25 単位	
科目の概要	(1) 経営プロジェクト計画に基づき、新たな技術や改善の必要な課題を抽出し、その対策方法を検討、計画及び実践 (2) 得られた結果を取りまとめて生産性及び経済性を評価し、発表する					
身に付ける力	(1)肉用牛経営に関する基礎知識・技術 (2)課題設定、生産計画作成、調査の実施、取りまとめに関する手法					
到達目標	(1)収益性の向上につながる対策を計画し実践する (2)実践した結果の効果を検証し、経済性の評価をする (3)取り組んだ内容を図表等を使って取りまとめ、発表する					
授業計画		授業内容・方法			時間数	講師
	1	経営プロジェクト課題設定			5	
	2	試験項目の設定			10	
	3	設計書および中間報告書作成			10	
	4	経営プロジェクト実習			680	
	5	経営プロジェクト取りまとめ			30	
	6	卒業論文の作成			15	
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法		観点	割合	評価方法	
	定期試験				実技テスト	
	レポート				発表・成果物	
	授業・実習態度		思・判・表、態	90	研修評価	
				知・技、思・判・表		
				思・判・表		10

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度